

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	工業技術基礎	2	1	デザイン	必修	工業技術基礎 実教出版

1. 学習の到達目標

デザインに関わる制作内容は平面制作から立体制作に至るまで多岐にわたり、それぞれに基礎的な技術が必要となってくる。素描により観察力を身につける。また3種類の材料体験を行い、立体物への造形力に結びつける。

2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の規準	工業に関する基礎的な技術について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、創造的、実践的な態度を身に付けている。	工業技術に関する諸問題の適切な解決を目指し、広い視野から自ら考え、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、成果を的確に表現することができる。	工業技術に関する基礎的な技術を身に付け、安全や環境に配慮し、合理的に計画し、適切に処理する。とともに、その	工業の各分野に関する基礎的な知識を身に付け、環境との調和の取れた在り方や現代社会における工業の意義や役割を理解している。
評価の方法	出席状況、授業態度、学習の取り組み状況、提出物の状況、提出課題などを総合的に判断して評価します。			

3. 教科からのメッセージ

この科目においてはこの『描く・作る』技術の基礎を習得する。また制作に当たっては学習指導要領で「環境に配慮した技術」が加えられており、材料の有効利用についても学び、2・3年次のプロダクトデザインへ繋げていく。

1年 工業技術基礎 年間指導計画表

単位数（2単位） 工業技術基礎：（実教出版）

目標	デザイン技術に関する基礎的な知識と技術を習得させ、実際に応用する能力と態度を育てる。		
月	大項目	中項目	時数
4	基本形態の素描	基本形態を描く ・立方体の素描	6
A パート	素材体験① 木材による彫刻演習	・オブジェ等の立体物を木材で制作	12
B パート	素材体験② 石膏による成形演習	・幾何学形態をベースにした立体物を石膏で制作	12
C パート	素材体験③ 紙による成形演習	・立体物を紙で制作	12
12 1 2	基本形態の素描	基本形態をなす身の回り品の素描 ・球体（石膏） ・紙箱 ・コップなど	28